

水辺活動

プログラム名 (コース名)	魚釣り			
概要	手竿またはリール竿を使って、ハーバー内にいる魚を釣る。			
ねらい	浜名湖の雄大な自然を肌で感じ、魚釣りを通じて魚釣りの楽しさと難しさを体験することができる。 魚に触れたり、よく観察したりして五感を働かせることにより、魚の生態や習性に気付くことができる。			
条件	対象	全年齢	人数 (指導者人数)	～80人 (3人以上)
	活動時間	90～150分	活動時期	5月中旬～10月
	活動場所	艇庫、ハーバー	費用	1竿100円
	下見	要	活動名簿提出	不要
持ち物・準備	(個人) 濡れてもよい服装、濡れてもよい靴 (サンダル、クロックス不可)、軍手 (必要に応じて) 飲料、帽子 (団体) えさ (青イソメ) ※えさは活動前に購入 (裏面に近隣の魚釣りえさ販売店紹介あり) (貸出) 手竿またはリール竿、バケツ、ライフジャケット ※竿の貸出しは合計40本まで可能。手竿は40本、リール竿は20本まで貸出し可能。 ※手竿とリール竿の混合活動可。ただし、場所は分ける。			
安全上の留意点 (対策方法)	釣り針、魚のひれ、有毒生物等による怪我 (事前の注意喚起) 自然災害 (事前に気象状況の把握) 落水 (事前の注意喚起)			

活動内容 (手順)

事 前 ①指導者配置：所定の「活動プログラム時の団体指導者の役割分担表」を作成、提出

②グループ編成：2人1組 (2人で釣竿1本、バケツ1個)

③下見の実施：活動エリア状況と安全把握

④研修生への事前指導：「概要」「ねらい」「安全上の留意点」等を指導、服装や持ち物を確認

活動前 ①打合せ (活動10分前)：事務室前で所員と団体責任者・担当指導者にて実施

実施判断：気象を基に、協議の上決定

確認事項：人数、健康状態、貸出備品

活 動 ①指導：所員より

艇庫での説明 (説明内容) 仕掛作り、えさのつけ方、注意事項等

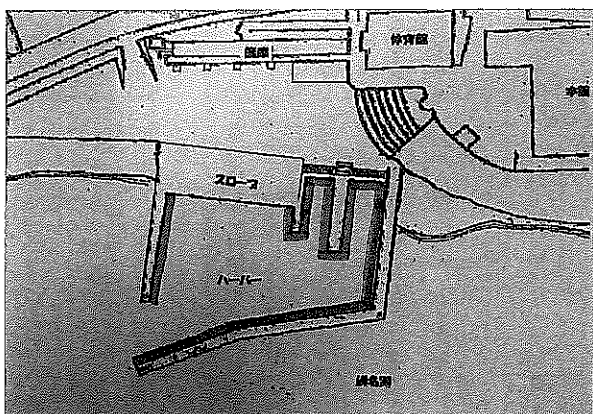
②活動開始：ハーバーへ移動し、場所を確認後、釣り実施

③確認事項：人数、健康状態

④振り返り：活動の感想を発表

⑤片付け：備品の返却と確認、艇庫5番の棚にあるハンドソープを使い、水道で手を洗う (使用後はもとの場所へ戻す)

〈活動場所〉



◀ 魚釣り餌 販売店 紹介 ▶

えさや小寺

浜松市北区三ヶ日町鶴代^{ぬえしろ}64-1

営業時間 5:30 ~ 20:00

TEL:053-524-1009

※火曜定休（店舗向かいの自動販売機では餌を販売しています。）

※あらかじめ「受取日時、金額」をご連絡いただくことをお勧めします。

車の場合は片道約10分、徒歩の場合は片道約1時間です。



三ヶ日駅方面

魚釣りの活動に適した餌は「青イソメ」です。

「青イソメ」は500円から販売しています。

※自動販売機は領収書発行ができません。



※写真は500円分の青イソメ
(目安:釣竿5本・2時間程度の量)

三ヶ日青年の家では餌の保管はできません。

(クーラーボックス等での餌の保管を推奨)